

創立 60 周年記念事業報告書

2021 年 6 月 8 日

一般社団法人 情報処理学会

<https://www.ipsj.or.jp/>

目 次

創立 60 周年記念事業の報告について	1
記念事業の全体概要	2
(以下 1～6 は事業の実施時期の順)	
1. 記念全国大会の開催	3
2. 会誌記念特集号の発行ほか	4
3. 記念出版①「情報処理学会 60 年のあゆみ」発行	5
4. 記念出版②「情報処理技術遺産とパイオニアたち」発行	6
5. 記念論文の表彰	7
6. 創立 60 周年記念週間 (記念式典開催中止)	8
7. 記念事業関連委員会	9
8. 記念事業の財務	12

創立 60 周年記念事業の報告について

創立 60 周年記念事業は、学会創立 60 周年を記念して、情報処理にかかわる学界、教育界、産業界をはじめとするすべての方々が明日の情報社会に関する夢を持って議論する契機もしくは里程碑となることを願って、第 629 回理事会（2018 年 6 月）において 6 つの事業の実施を決定いたしました。

折しも本学会創立 60 周年にあたる 2020 年、世界中を襲った新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、記念式典の開催は叶いませんでしたが、以降、記念事業実行委員会および各事業実施委員会のもとで各々の事業を推進してまいりました。

2021 年 3 月をもって全ての記念事業を終了いたしましたのでご報告致します。

（参考：60 周年記念事業サイト <https://www.ipsj.or.jp/60anv/index.html>）

記念事業の遂行にあたりましては、会員皆様をはじめ関係皆様のご支援・ご尽力に対しまして、ここに深く感謝申し上げます。

以下に、各事業の実施概要について事業が実施された時期の順にご報告いたします。

2021 年 6 月 8 日

創立 60 周年記念事業実行委員会

委員長 江村 克己（第 30 代会長）

記念事業の全体概要

創立 60 周年記念事業の実施は、企画政策委員会で 2017 年度より検討準備が進められ、第 629 回理事會（2018 年 6 月）で 6 つの事業の実施と、記念事業推進のための創立 60 周年記念事業実行委員会ならびに各事業の実施委員会の設置が決定された。

以降、記念事業実行委員会ならびに各事業実施委員会のもとで各記念事業を推進実施した。

■実施事業 ※掲載は実施時期順、詳細は次頁以降に掲載

1. 記念全国大会の開催（2020 年 3 月 5 日～7 日、於 オンライン開催（Zoom））
2. 会誌記念特集号の発行（2020 年 5 月号）、
中高生のための情報処理カタログ「JOSYORI」作成（2021 年 3 月公開）
3. 記念出版①「情報処理学会 60 年のあゆみ」発行（2020 年 10 月 30 日発行）
4. 記念出版②「情報処理技術遺産とパイオニアたち」発行（2020 年 10 月 31 日発行）
5. 記念論文の表彰（2020 年 11 月 23 日 メモリアル Web ページにて受賞報告）
6. 創立 60 周年記念週間（2020 年 11 月 23 日～27 日）

※記念式典は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

■推進体制

以下の委員会（いずれも記念事業終了までの時限委員会）を設け推進した。

創立 60 周年記念事業実行委員会

- 記念全国大会（＝第 82 回全国大会）組織委員会／プログラム委員会
- 記念会誌編集委員会（＝会誌編集委員会）
- 記念論文選考委員会
- 60 年のあゆみ編纂委員会
- 記念出版委員会
- 記念式典実施委員会
- 記念事業総務財務委員会

■財務

必要経費は記念事業積立資産を取崩して充当した。

記念事業計画当初の予想取崩累計額 30,155 千円、実績取崩累計額 15,707 千円（対予想 14,448 千円減）であった。

1. 記念全国大会の開催

第 82 回全国大会を記念全国大会と位置付け、当初 2020 年 3 月 5 日～7 日に金沢工業大学扇が丘キャンパスでの開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により現地での開催が困難な状況となった為、開催約 2 週間前に急遽現地での開催を断念し、開催形態をオンラインに切り替えて実施した。本大会では、「持続可能な情報社会」というテーマのもとで多くの魅力あるイベントが企画されていたが、このような状況の中でも一部のイベント企画をオンラインにより開催することができた。また、一般セッション、学生セッションに関しては全てのセッションをオンラインで開催し、3 日間で 1,141 件の発表と 2,419 名の参加があった。

当会において最大規模のイベントである全国大会をオンラインで開催することは、チャレンジングな試みであったが、開催側関係者の皆様、参加者の皆様のご理解とご協力により成功裏に開催することができた。また、本大会開催後にこの試みを会誌（下記：関連抜粋掲載）に掲載し広く会員へ周知した。

会 期 2020 年 3 月 5 日（木）～7 日（土）
会 場 オンライン開催
テーマ 「持続可能な情報社会」

<オンライン開催したセッション／イベント企画>

- 一般セッション、学生セッション
- イベント企画（4 件）
 - ・MEC (Multi-access Edge Computing) への挑戦
 - ・「先生質問です!」公開セッション
 - ・8th IPSJ International AI Programming Contest SamurAI Coding 2019-20 World Final
 - ・中高生情報学研究コンテスト

<中止になったイベント企画>

- 特別講演（1 件）
 - ・藤沼広一氏（内閣官房）「大規模医療データの研究開発への利活用」
- 招待講演（3 件）
 - ・Yunmook Nah 氏 (KIISE 会長) 「Data Center Trends: Infrastructure for Intelligent Society」
 - ・Hong MEI 氏 (CCF 会長) 「Big Data in China」
 - ・Leila De Florian 氏 (IEEE-CS 会長) 「Representation and analysis methods for spatial data visualization」
- PC 委員会企画（7 件）
 - ・60 周年特別企画：初音ミク ファン メイド ミニライブ IPSJ-39 / SDGs の達成に向けた IT の役割 / ～コンピュータパイオニアが語る～「私の詩と真実」 / パネル討論「情報社会の未来を拓く情報処理学会：情報技術と学会の過去、現在、未来」
 - ・IPSJ-ONE / キャリアセッション / 地域で自走するプログラミング教育
- 研究会・委員会提案企画（16 件）
 - ・これからの一般情報教育 why, what, how / DX (デジタルトランスフォーメーション) で「2025 年の崖」をどう超えるか / 2019 年サイバー事件回顧録 / 研究 100 連発 in 石川 / はじめての人文情報学 / IoT に関する国際標準化動向と日本の取組み / 誰のための契約なのか? / 論文必勝法 / DX を推進する俊敏なシステム開発・運用 / 情報学のトップ才能からエリートへ / 激変! 情報入試を取り巻く環境 / AI・ビッグデータ解析 / CC2020: Computing Curricula 2020 プロジェクト / 信用スコアの期待と課題 / Exciting Coding! Junior / 初等中等教員研究発表セッション

■関連抜粋掲載

- 学会 Web サイト
<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/>
- 全国大会のオンライン開催の成功をうけて
<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/presidents/30emura.html#20200313>
- 会誌 Vol. 61, No. 6 (2020 年 6 月号)
「情報処理学会第 82 回全国大会 実録 緊急オンライン開催」
- 会誌 Vol. 61, No. 9 (2020 年 9 月号)
「バーチャル空間で学会主催イベントをやってみた～実はすぐそこにあった未来～」

2. 会誌記念特集号の発行ほか

■記念特集号

会誌 61 巻 5 号（2020 年 5 月号）を記念特集号と位置付け、「2050 年の情報処理」の記念特集を掲載した。本企画は 1991 年の同特集「30 年後の情報処理」（32 巻 1 号/1991 年 1 月号）における記載内容の検証と、2050 年に向けての予想をコラム形式で紹介したものである。

■中高生のための情報処理カタログ「JOSYORI」

<https://ipsj-catalog.jp/>

中高生に IT 分野への興味を持ってもらえるよう「情報処理」の専門用語を図やイラスト、さらにインタビューや取材記事等も交えて簡潔にまとめた用語集「中高生のための情報処理カタログ「JOSYORI」（ジョーシヨリ）」を作成し、Web サイトで 2021 年 3 月に公開した。

※情報処理カタログ「JOSYORI」のトップページ

IPSI 情報処理カタログ

JOSYORI

#ジョーシヨリ

情報処理技術を身近に
“自分ごと”に

AI、量子コンピューター、ブロックチェーンなどさまざまな技術が進化、普及し「テクノロジー」にはふれつつも、その技術がどのようなものなのか理解しにくくなっています。
テクノロジーをただ紹介するのではなく、技術を自分の周りの出来事として捉えてもらえるよう、身近にある技術の紹介とわかりやすい用語集を用意しました。

用語集
情報処理用語を
わかりやすく解説。
enter

STORY
インタビューやコラムで
より身近に。
enter

MOVIE GALLERY
色んな動画を
見てみよう
enter

HOME | 用語集 | STORY | MOVIE GALLERY | 情報処理学会について | お問い合わせ | プライバシーポリシー

IPSI 情報処理カタログ
JOSYORI
#ジョーシヨリ
Copyright © JOSYORI

3. 記念出版①「情報処理学会 60 年のあゆみ」の発行

情報処理学会 50 年史「50 年のあゆみ」以降を中心に本会 60 年の活動の記録を編纂し、「60 年のあゆみ」として 2020 年 10 月に発行した。情報処理分野をリードする本会にふさわしい発行形態であるオンライン出版を基本とし、Web で公開。歴代役員等への贈呈用として紙での発行も併せて実施した。

■情報処理学会 60 年のあゆみ Web サイト

<https://www.ipsj.or.jp/60anv/60nenshi/>

■「情報処理学会 60 年のあゆみ」目次

創立 60 周年を迎えて

刊行によせて

編集にあたって

第 1 編：学会 60 年のあゆみ

〔第 1 章〕 60 年の軌跡

〔第 2 章〕 学会活動 10 年間のあゆみ

〔第 3 章〕 次の 10 年に向けて

第 2 編：情報規格標準化活動のあゆみ

〔第 1 章〕 標準化活動 60 年の軌跡

〔第 2 章〕 情報規格調査会 10 年間のあゆみ

第 3 編：情報処理技術の発展と展望

〔第 1 章〕 コンピュータサイエンス領域 [CS]

〔第 2 章〕 情報環境領域 [IE]

〔第 3 章〕 メディア知能情報領域 [MI]、研究グループ

〔第 4 章〕 シンポジウム

年表 (2010～2020 年)

資料 (本文中で参照された学会資料 (図・表・名簿))

4. 記念出版②「情報処理技術遺産とパイオニアたち」の発行

本書は『情報処理技術遺産』において2008年～2019年に認定された各遺産の情報108件、分散コンピュータ博物館10件、および、会誌連載記事「古機巡礼/二進伝心:オーラルヒストリー」のうち、23名分の記事を編纂し、2020年10月に発行した。

本書は遺産認定者、パイオニア、歴代役員等に贈呈されたほか、一般販売も行っている。

- ・定価： 本体6,000円(+税) (会員価格： 本体5,400円(+税))

■「情報処理技術遺産とパイオニアたち」目次

第1部 情報処理技術遺産 2008-2019

自働算盤/川口式電気集計機及び亀の子型穿孔機/タイガー計算器 No. 59/微分解析機/九元連立方程式求解機/物理乱数発生装置群/大阪大学真空管計算機/沖電気数字印刷電信機/パラメトロンアーカイブス/ページ式和欧文電信機「55型テレタイプ」/東京大学生産技術研究所微分解析機 (トルク増幅機などの構成部品) /UNIVAC120/自己相関係数計算機/パラメトロン素子/ETL Mark II/FUJIC/ETL Mark IV パッケージおよび磁気ドラム/HIPAC MK-1/HITAC 301 部品/潮候推算機/NEAC-1101/NEAC-R3 アナログコンピュータ/SENAC-1 (NEAC-1102) /翻訳実験用計算機 KT-1 論理パッケージ, 磁気ドラム/14-B/FACOM128B/MARS-1 29/TAC ウィリアムス管・真空管および関連資料/慶應義塾大学トランジスタ計算機 K-1/FACOM138A 一式/FACOM201/KDC-I 論理パッケージ/MUSASINO-1B/OKITYPER-2000/HITAC 201/KT-Pilot/NEAC-2203/NEAC-2203 NARC/強震応答解析用アナログ計算機 SERAC/HITAC 3010/OKITAC 5090C/リレー式計算機 AL-1 型/MADIC-IIA システム一式/MARS-101/MELCOM 1101/NEAC-2206/CS-10A/HITAC 5020 および関連部品/東京オリンピック情報システム関連資料/HARP 5020 関連資料/NEAC シリーズ 2200 モデル 500 論理パッケージ/NEAC-1210/NEAC シリーズ 2200 モデル 50/TOSBAC-1100D/USAC-1010/H-8564 磁気ディスク駆動装置/USAC-3010/MELCOM81/NEAC シリーズ 2200 モデル 700 パッケージ/SCK-201 形漢字鍵盤さん孔機/TTL 論理回路カード (FACOM 230-60 搭載) /ワイヤドットプリンタ/JIS FORTRAN 入門 (上) (下) /DIPS4150 形磁気ドラム記憶装置/HITAC 10/NHK コンピューター講座資料一式/ASPET/71 光学的文字読取装置/Busicom 141-PF/DIPS-1 構成部品 (中央処理装置等) /PDP-8/I/HITAC 8800 部品類/TOSBAC-3400/カシオ ミニ/2400B 型ラインプリンタ/FACOM230-25 システム一式/FACOM603F 磁気テープ装置/HITAC 8700/NEAC システム 100/OKITAC-4300C システム/MARS-105 用座席予約端末装置/LSI パッケージ MB11K 搭載の MCC ボード/TK-80/HITAC M-180 論理パッケージ/PANAFACOM Lkit-16/オートテラターミナル AT-20P/京都大学 QA-1/構造化プログラミング言語 SPL/JW-10/MZ-80K/神戸大学 Lisp マシン FAST LISP/磁気バブルメモリ製品群および BUBCOM80/ベーシックマスター MB-6880/PANAFACOM C-15E/大阪大学 EVLIS マシン/if800 モデル 30/PC-9801/紙幣選流型現金自動預払機 AT-100/CASE ソフトウェア SEA/I/HITAC S-810 論理パッケージ/OASYS 100 及び 親指シフトキーボード試作機/NEC スーパーコンピュータ SX-2 パッケージ/T1100/初代「一太郎」/FACOM VP シリーズ E モデルの MCC ボード/HITAC S-820/FACOM 6715D/地球シミュレータ/スーパーコンピュータ「京」/京都コンピュータ学院 KCG 資料館/東京農工大学情報工学科 西村コンピュータコレクション/東北大学サイバーサイエンス センター展示室/北陸先端科学技術大学院大学 JAIST 記号処理計算機コレクション/NTT 技術史料館 (NTT の歴史的なコンピュータの展示エリア) /計算科学振興財団 高度計算科学研究支援センター展示コーナー/神戸大学経済経営研究所 経営機械化展示室/情報・システム研究機構 統計数理研究所計算機展示室/日立大みか制御史料室/富士通 DNA 館/

第2部 オーラルヒストリー

相磯 秀夫 氏/天羽 浩平 氏/飯島 泰蔵 氏/石井 善昭 氏/大野 豊 氏/尾関 雅則 氏/喜安 善市 氏/坂井 利之 氏/嶋 正利 氏/戸田 巖 氏/中澤 喜三郎 氏/西野 博二 氏/野口 正一 氏/穂坂 衛 氏/三浦 武雄 氏/宮城 嘉男 氏/矢島 脩三 氏/安井 裕 氏/山田 博 氏/山本 卓真 氏/渡部 和 氏/和田 英一 氏/和田 弘 氏

5. 記念論文の表彰

2019年6月より募集予告を告知後、同年11月より正式公募を開始し応募投稿論文総数14編より慎重に審議を行った結果、論文1編を選定し表彰した。

■受賞論文

- Towards a Complete Perspective on Labeled Tree Indexing:

New Size Bounds, Efficient Constructions, and Beyond
Shunsuke Inenaga (Kyushu Univ.)

<論文概要>

A labeled tree (trie) is a compact representation of a set of strings. This paper considers the labeled tree indexing problem, and provides a number of new results. Kosaraju [FOCS1989] proposed the suffix tree for a backward trie, where the strings in the trie are read in the leaf-to-root direction. We call a usual trie as a forward trie. Despite a few works after Kosaraju, indexing forward/backward tries is not well understood yet. We show a full perspective on the sizes of indexing structures such as suffix trees/arrays, DAWGs, and CDAWGs, for forward and backward tries. Some of them take $O(n)$ space in the size n of the input trie, while the others can occupy $O(n^2)$ space. Further, we show that there is a compact $O(n)$ -space implicit representation of the DAWG for a forward trie, whose naive representation requires $O(n^2)$ space. This compact representation allows for simulating each DAWG edge traversal in $O(\log v)$ time, and can be constructed in $O(n)$ time and space over any integer alphabet of size $v = O(n)$. This readily extends to the first indexing structure that permits bidirectional pattern searches over a trie within linear space in the input trie size.

<受賞理由>

This paper discusses fundamental techniques on compact representation of a set of strings, which are important for high-speed information processing of many kinds of databases. The author comprehensively describes the state-of-the-art methods for labeled tree indexing problems, such as backward tries, suffix trees/arrays, DAWGs and their variations. The author then proposes several non-trivial, more exact theoretical results on space and time complexities to evaluate the performances of those related data structures. The author also clarifies the current remaining problems to suggest some prospective research directions. The paper is very well-organized and it will lead to progress of theories and applications for various information processing. Thus, we consider that the paper is worthy of awarding a 60th Anniversary Best Paper.

■関連掲載

- Journal of Information Processing (JIP) Vol.28 (2021年1月15日発行)
受賞論文掲載

6. 創立 60 周年記念週間の実施

(記念式典は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止)

当初計画では、2020 年 10 月 30 日 (金) に明治記念館において記念式典の開催を予定していたが、折しも本学会創立 60 周年にあたる 2020 年、世界中を襲った新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により、感染防止の観点からその開催を中止した。これに代えて、本会の還暦にあたるこの 60 周年、またこれからのニューノーマル社会に向けてメモリアルメッセージを後世に残しておくことを目的として「学会創立 60 周年記念週間」を下記のとおり実施し、メモリアル Web ページを公開した。

【学会創立 60 周年記念週間 (期間 : 2020 年 11 月 23 日 (月) ~27 日 (金))】

メモリアル Web ページ (以下内容) : <https://www.ipsj.or.jp/60anv/memorial.html>

- ▶ 会長挨拶「学会創立 60 周年記念週間とメモリアルページ」
- ▶ 学会宣言「情報処理学会創立 60 周年宣言~More local and more diverse for global values~」
- ▶ 学会創立 60 周年記念講演 於 : 2020 年 11 月 26 日 (木) 当日 Zoom 講演 (後日 YouTube 動画)
「IEEE の活動とこれからのヒューマンネットワークのあり方」

福田 敏男 (2020IEEE President and CEO、名城大学大学院教授、早稲田大学特命教授)

- ▶ ご祝辞 6 名 萩生田光一 (文部科学大臣)
岸本喜久雄 (日本工学会 会長)
笹瀬 巖 (電子情報通信学会 2020 年度会長)
Leila De Floriani (IEEE Computer Society 2020 President)、
益田 隆司 (情報処理学会第 22 代会長 / 船井情報科学振興財団 副理事長)
西尾章治郎 (情報処理学会第 29 代会長 / 大阪大学 総長)
- ▶ 学会創立 60 周年記念パネル討論 (YouTube 動画) 於 : 2020 年 10 月 30 日 (金) 明治記念館
「情報社会の未来を拓く : 情報技術と学会の過去、現在、未来」

第 1 部 学会のこれまでの振り返りと今後の展開

司 会 : 江村 克己 (本会第 30 代会長 (現会長)、日本電気 NEC フェロー)

パネリスト : 白鳥 則郎 (本会第 25 代会長、東北大学 名誉教授)

古川 一夫 (本会第 26 代会長、日本ガイシ 取締役、パナソニックグループ取締役)

喜連川 優 (本会第 27 代会長、国立情報学研究所 所長 / 東京大学 教授)

富田 達夫 (本会第 28 代会長、情報処理推進機構 理事長)

第 2 部 これからの学会のデザイン

司 会 : 江村 克己 (情報処理学会第 30 代会長 (現会長)、日本電気 NEC フェロー)

パネリスト : 福田 敏男 (IEEE 会長、名城大学 教授)

笠原 博徳 (IEEE Computer Society 2018 会長、早稲田大学 副総長)

田島 玲 (Yahoo! JAPAN 研究所 所長)

落合 陽一 (筑波大学 准教授)

- ▶ 記念論文受賞報告

受賞論文タイトル : Towards a complete perspective on labeled tree indexing: new size bounds, efficient constructions, and beyond

受賞者 : Shunsuke Inenaga

Kyushu University • Department of Informatics • Associate Professor

- ▶ 60 周年記念特別寄稿 渡部 和 (情報処理学会名誉会員)

「世界に先駆けて CAD 時代の扉を切り開いた秘話」

~電子計算機黎明期に設計自動化用計算機を創った苦闘の物語~

- ▶ 記念出版「情報処理学会 60 年のあゆみ」 <https://www.ipsj.or.jp/60anv/60nenshi/#top>

7. 記念事業関連委員会

7.1 理事会

[2017年度]

会 長 西尾章治郎
副会長 東野 輝夫, 浅井光太郎
理 事 荒木 拓也, 伊藤 智, 今岡 仁, 大内 一成, 河内谷清久仁, 北村 操代, 後藤 厚宏,
佐藤 真一, 重野 寛, 柴山 悦哉, 角谷 和俊, 関口 智嗣, 高岡 詠子, 谷口倫一郎,
寺田 努, 徳永 健伸, 鳥澤健太郎, 中川八穂子, 長谷川輝之, 原 隆浩, 富士 仁,
坊農 真弓, 美馬のゆり, 屋代 智之
監 事 山本里枝子, 砂原 秀樹

[2018年度]

会 長 西尾章治郎
副会長 浅井光太郎, 岡部 寿男
理 事 荒木 拓也, 伊藤 智, 大内 一成, 河内谷清久仁, 川原 圭博, 楠 房子, 倉本 到,
栗原 英俊, 佐藤 真一, 重野 寛, 関口 智嗣, 高橋 克巳, 田島 玲, 谷口倫一郎,
寺田 努, 中野美由紀, 並木美太郎, 平井 規郎, 富士 仁, 坊農 真弓, 湊 真一,
美馬のゆり, 屋代 智之
監 事 砂原 秀樹, 串田 高幸

[2019年度]

会 長 江村 克己
副会長 岡部 寿男, 中川八穂子
理 事 伊藤 智, 鬼塚 真, 小野寺民也, 川原 圭博, 楠 房子, 窪田 歩, 倉本 到,
栗原 英俊, 佐藤 真一, 清水 佳奈, 下條 真司, 高橋 克巳, 高橋 尚子, 田島 玲,
田中 淳裕, 長 健太, 寺田 努, 中野美由紀, 並木美太郎, 西垣 正勝, 西山 博泰,
平井 規郎, 本田新九郎, 湊 真一
監 事 串田 高幸, 渡辺 尚

[2020年度]

会 長 江村 克己
副会長 中川八穂子, 萩谷 昌己
理 事 伊藤 智, 井上 創造, 上原 忠弘, 鬼塚 真, 小野寺民也, 鎌田真由美, 岸野 泰恵,
窪田 歩, 清水 佳奈, 下條 真司, 高橋 克巳, 高橋 尚子, 辰己 丈夫, 田中 淳裕,
長 健太, 中小路久美代, 中山 泰一, 西垣 正勝, 西田 知博, 西山 博泰, 樋口 毅,
本田新九郎, 松尾 豊, 森嶋 厚行
監 事 渡辺 尚, 河内谷清久仁

7.2 記念事業実行委員会 (2018年6月～2021年3月)

会 長 江村 克己, 西尾章治郎* (*: 会長就任期間の会長)
副委員長 中川八穂子, 萩谷 昌己, 岡部 寿男*, 浅井光太郎* (*: 副会長就任期間)
委 員 窪田 歩, 樋口 毅, 田中 淳裕, 上原 忠弘, 本田新九郎, 松尾 豊, 長 健太,
中小路久美代, 清水 佳奈, 井上 創造, 下條 真司, 岸野 泰恵,
東野 輝夫, 発田 弘

(以下は、各担当理事就任期間の委員)

大内 一成, 平井 規郎, 富士 仁, 栗原 英俊, 原 隆浩, 寺田 努, 河内谷清久仁,
中野美由紀, 坊農 真弓, 楠 房子, 谷口倫一郎, 湊 真一, 岡部 寿男, 浅井光太郎

7.3 記念全国大会（＝第82回全国大会）運営委員会

委員長 岡部 寿男（2018年度～2019年度副会長）
副委員長 中野美由紀, 長 健太, 河内谷清久仁*（*：理事就任期間）
委員 倉本 至, 中沢 実（2019年度）

7.3.1 記念全国大会（＝第82回全国大会）プログラム委員会

委員長 中沢 実
副委員長 河並 崇
委員 中野美由紀, 長 健太, 斎藤 正史, 中沢 憲二, 楠 房子, 長尾 篤樹, 佐藤未来子,
青木 秀一, 谷田 英生, 古川 雅子, 中田眞城子, 井上 弘士, 三村 守, 土田 修平,
大平 雅雄, 千石 靖

7.3.2 記念全国大会（＝第82回全国大会）実行（現地）委員会

委員長 齋藤 正史
副委員長 中沢 憲二
幹事 長田 茂美, 山本 知仁
委員 島内 末廣, 山岸 芳夫, 金野 武司, 勝山光太郎, 松井くにお, 根岸 一平, 阿部 倫之,
鷹合 大輔, 泉井 良夫, 徳永 雄一, 佐野 涉二, 林 亮子, 郭 清蓮, 石橋 孝一,
館 純恵, 横谷 哲也, 浦 正広, 平本督太郎, 黒瀬 浩, 川端 里絵, 向井 宏明,
北川 達也, 高野佐代子, 坂 知樹, 西川 幸延, 神田 英信, 梅木 知子

7.4 記念会誌編集委員会 ※編集当時の会誌編集委員会が兼務

編集長 稲見 昌彦
副編集長 大山 恵弘, 加藤 由花, 中田眞城子
幹事 井上 創造, 清水 佳奈
委員 江渡浩一郎, 大石 康智, 大川 徳之, 太田 智美, 折田 明子, 川上 玲, 楠 房子,
須川 賢洋, 中島 一彰, 西川 記史, 堀井 洋, 福地健太郎, 坊農 真弓, 水野加寿代,
山本ゆうか, 湯村 翼

7.5 記念論文選考委員会

委員長 湊 真一
委員 谷口倫一郎, 下條 真司, 屋代 智之, 倉本 到, 並木美太郎**, 西垣 正勝†, 中山 泰一,
柴山 悦哉, 棟朝 雅晴, 吉川 正俊, 建部 修見, 西田 知博, 竹中 要一, 高橋 篤司,
斎藤 英雄, 清原 良三, 北 栄輔*, 五島 正裕*, 戸川 望*,
（†：2019年度～、**：～2019年度、*：2018年度）

7.6 60年のあゆみ編纂委員会

委員長 東野 輝夫
副委員長 岡部 寿男
委員 浅井光太郎, 伊藤 智, 柴山 悦哉, 寺田 努, 中川八穂子, 屋代 智之

7.7 記念出版委員会

委員長 発田 弘
副委員長 清水 佳奈, 楠 房子*, 坊農 真弓*（*：理事就任期間）
委員 旭 寛治, 高橋 義雄, 橋爪 宏達, 前島 正裕, 松永 俊雄, 小山 透, 富高 琢磨

7.8 記念式典実施委員会

委員長 中川八穂子, 岡部 寿男*, 浅井光太郎* (*: 前任副会長就任期間)
副委員長 萩谷 昌己, 中川八穂子*, 岡部 寿男* (*: 後任副会長就任期間)
幹事 窪田 歩, 田中 淳裕
委員 樋口 毅, 上原 忠弘, 平井 規郎*, 栗原 英俊*, 大内 一成*, 富士 仁*
(*: 理事就任期間)

7.9 記念事業総務財務委員会

委員長 中川八穂子, 岡部 寿男*, 浅井光太郎* (*: 前任副会長就任期間)
副委員長 萩谷 昌己, 中川八穂子*, 岡部 寿男* (*: 後任副会長就任期間)
委員 窪田 歩, 田中 淳裕, 樋口 毅, 上原 忠弘, 平井 規郎*, 栗原 英俊*,
大内 一成*, 富士 仁* (*: 理事就任期間)

8. 記念事業の財務

必要経費は記念事業積立資産を取崩して充当した。

記念事業計画当初の予想取崩累計額 30,155 千円、実績取崩累計額 15,707 千円（対予想 14,448 千円減）であった。

* 記念事業関係の収支は次頁に掲載。

(参考) 記念事業積立資産に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、記念事業積立資産（以下「本積立資産」という）に関し、必要な事項を定め、その適正な執行を確保することを目的とする。

(使 途)

第2条 本積立資産の使途は、定款第5条1号および2号（移行後の新定款においては、第4条1号および2号）に基づく事業について、10年ごとに計画する次の創立周年特別記念事業の実施に限定する。

- (1) 創立周年特別記念事業のうち、公益目的に資すると理事会が認めた施策
- (2) 支部の周年事業のうち、公益目的に資すると理事会が認めた施策

(構 成)

第3条 本積立資産は、理事会において積立資産に繰り入れることを議決した財産とする。

(管理運用)

第4条 本積立資産は、元本が回収できる見込みが高くかつ高い運用益が得られる方法で、固定資産として管理する。

(充 当)

第5条 本積立資産は、その計画的な取崩しにより事業の実施に充当するものとし、運用益は本積立資産 全額を費消する年度においてその全額を執行する。

2. 前項の取崩し額および運用益の額は、予算に計上しなければならない。

(処 分)

第6条 事業の実施上やむを得ない事由により、予算に計上した計画的な取崩し額を超えて本積立資産および運用益の全部または一部を処分しようとする時は、理事会の承認を得なければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程を改廃するときは、理事会の承認を得なければならない。

附 則 この規程は、平成20年4月25日から施行する。

付 8. 記念事業の財務
創立60周年記念事業収支計算書（2019年4月1日～2021年3月31日）

■実施事業別

	記念大会	記念会誌	記念論文	記念出版① あゆみ	記念出版② 遺産・ハイム	記念週間	共通・その他	合計
[事業活動収入]								
頒布収益	0	0	0	0	768,900	0	0	768,900
事業活動収入 計	0	0	0	0	768,900	0	0	768,900
[事業活動支出]								
会議費	0	0	0	21,736	6,292	1,048,949	0	1,076,977
会議費（交際費）	0	0	0	0	0	72,600	0	72,600
旅費交通費	89,220	0	0	0	0	39,820	0	129,040
通信運搬費	0	0	1,410	509,134	22,837	42,460	0	575,841
消耗品費	37,309	0	15,950	0	3,168,000	67,760	0	3,289,019
印刷製本費	0	2,407,037	60,390	3,831,850	0	0	0	6,299,277
諸謝金	0	0	0	0	0	0	11,137	11,137
賞金	0	0	50,000	0	0	0	0	50,000
委託費	629,710	3,795,000	0	0	0	387,200	0	4,811,910
支払手数料	0	0	0	0	5,832	0	0	5,832
雑費	0	0	0	0	0	154,500	0	154,500
事業活動支出 計	756,239	6,202,037	127,750	4,362,720	3,202,961	1,813,289	11,137	16,476,133
A：事業活動収支差額	△ 756,239	△ 6,202,037	△ 127,750	△ 4,362,720	△ 2,434,061	△ 1,813,289	△ 11,137	△ 15,707,233
B：記念事業積立資産取崩額	756,239	6,202,037	127,750	4,362,720	2,434,061	1,813,289	11,137	15,707,233
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0

■年度別

	2019年度	2020年度	合計
[事業活動収入]			
頒布収益	0	768,900	768,900
事業活動収入 計	0	768,900	768,900
[事業活動支出]			
会議費	12,540	1,064,437	1,076,977
会議費（交際費）	0	72,600	72,600
旅費交通費	89,220	39,820	129,040
通信運搬費	0	575,841	575,841
消耗品費	37,309	3,251,710	3,289,019
印刷製本費	0	6,299,277	6,299,277
諸謝金	0	11,137	11,137
賞金	0	50,000	50,000
委託費	629,710	4,182,200	4,811,910
支払手数料	0	5,832	5,832
雑費	0	154,500	154,500
事業活動支出 計	768,779	15,707,354	16,476,133
A：事業活動収支差額	△ 768,779	△ 14,938,454	△ 15,707,233
B：記念事業積立資産取崩額	768,779	14,938,454	15,707,233
A+B	0	0	0